

令和元年度  
教育に関する事務の管理及び執行状況の  
点検及び評価の結果に関する報告書  
(平成30年度対象)

かすみがうら市教育委員会

# 目 次

## 第 1 章 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要

	ページ
1 趣 旨	1
2 点検評価の対象	1
3 対象期間	1
4 点検評価の方法	1
5 平成30年度に教育委員会が実施した主な 事務事業の点検	2

## 第 2 章 教育委員会の活動

1 教育委員会	5
2 教育委員会の開催状況	5
3 教育委員会定例会・臨時会開催状況	6

## 第 3 章 点検及び評価結果

1 学校教育の充実	9
2 社会性豊かな青少年の健全育成	3 1
3 生涯学習の充実	3 7
4 地域文化の継承と創造	5 4
5 市民活動の支援	6 2

## 第 4 章 学識経験者の意見

	6 4
--	-----

# 第1章 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要

## 1 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表するものです。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検評価の対象

点検・評価を行う事務事業は、教育委員会が所管している事業（事務委任等も含む）のうち、第2次かすみがうら市総合計画に掲げられた、市教育委員会が所管する施策を対象に点検及び評価の対象としました。

## 3 対象期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

## 4 点検評価の方法

点検評価の方法については、第2次かすみがうら市総合計画を基に、自己点検評価書類を纏め、自己点検評価を行いました。

その後、かすみがうら市教育委員会事務点検評価委員（教育に関し学識経験を有する方として教育委員会が委嘱）から、自己点検評価の結果について、ご意見・ご助言をいただきました。

かすみがうら市教育委員会事務点検評価委員（五十音順、敬称略）

柴 田 一 浩（流通経済大学教授）

瀧ヶ崎 孝 子（市社会教育委員）

松 澤 茂（元小学校校長）

事務の点検評価の日程

令和元年10月16日（水） 教育委員会事務点検・評価会議（第1回目）

令和元年10月30日（水） 教育委員会事務点検・評価会議（第2回目）

令和元年11月 6日（水） 教育委員会事務点検・評価会議（第3回目）

## 5 平成30年度に教育委員会が実施した主な事務事業の点検

No	総合計画 施策の方向	主な関係事業名	担当課・担当
1	教育環境の計画的な整備推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧小学校施設維持管理事業</li> <li>・小学校施設維持管理事業</li> <li>・美並小学校施設統合環境整備事業</li> <li>・千代田中学校区統合小学校環境整備事業</li> <li>・中学校施設維持管理事業</li> <li>・中学校施設耐震促進事業</li> <li>・霞ヶ浦中学校施設統合環境整備事業</li> <li>・下稻吉中学校施設整備事業</li> </ul>	学校教育課 ・教育施設担当
2	教育環境の計画的な整備推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区審議会設置事業</li> <li>・学校統合推進事業</li> </ul>	学校教育課 ・学校教育担当
3	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校コンピューター設置事業</li> <li>・中学校コンピューター設置事業</li> </ul>	学校教育課 ・学校教育担当
4	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校図書室運営事業</li> <li>・中学校図書室運営事業</li> </ul>	学校教育課 ・学校教育担当
5	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校保健事業</li> <li>・小学校児童安全推進事業</li> <li>・中学校保健事業</li> <li>・中学校生徒安全推進事業</li> </ul>	学校教育課 ・学校教育担当
6	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校管理運営事業</li> <li>・小学校教材備品整備事業</li> <li>・中学校管理運営事業</li> <li>・中学校教材備品整備事業</li> </ul>	学校教育課 ・学校教育担当
7	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校給食管理運営事業</li> <li>・中学校給食管理運営事業</li> </ul>	学校教育課 ・学校教育担当 ・教育施設担当
8	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会運営事業</li> <li>・教育委員会事務局運営事業</li> </ul>	学校教育課 ・総務担当

No	総合計画 施策の方向	主な関係事業名	担当課・担当
9	教育内容の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育指導事業</li> <li>・指導主事設置事業</li> <li>・英語指導助手設置事業</li> <li>・教育推進団体設置事業</li> <li>・中学校部活動支援事業</li> <li>・小学校教育振興事業</li> <li>・中学校教育振興事業</li> </ul>	学校教育課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育担当</li> <li>・教育指導室</li> </ul>
10	教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援委員会設置事業</li> <li>・学校介助員設置事業</li> <li>・教育相談事業</li> <li>・小学校就学支援事業</li> <li>・中学校就学支援事業</li> </ul>	学校教育課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育担当</li> <li>・教育指導室</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもミライプロジェクトの展開</li> <li>・特色ある学校づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもミライ学習事業</li> </ul>	学校教育課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育指導室</li> </ul>
12	青少年健全育成活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成事業</li> <li>・学校家庭地域の連携協力推進事業</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育担当</li> </ul>
13	青少年の健全育成と体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成事業</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育担当</li> </ul>
14	地域の担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成事業</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育担当</li> </ul>
15	生涯学習推進体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進事業</li> <li>・公民館運営審議会運営事業</li> <li>・図書館運営事業</li> <li>・歴史博物館管理運営事業</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育担当</li> <li>・霞ヶ浦中地区公民館</li> <li>・千代田中地区公民館</li> <li>・下稻吉中地区公民館</li> <li>・図書館</li> <li>・歴史博物館</li> </ul>
16	生涯学習機会の提供と生涯学習団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進事業</li> <li>・女性団体行政事業</li> <li>・生涯学習市民協働事業</li> <li>・霞ヶ浦中地区公民館講座事業</li> <li>・千代田中地区公民館講座事業</li> <li>・下稻吉中地区公民館講座事業</li> <li>・文化芸術振興事業</li> <li>・歴史博物館管理運営事業</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育担当</li> <li>・霞ヶ浦中地区公民館</li> <li>・千代田中地区公民館</li> <li>・下稻吉中地区公民館</li> <li>・文化振興担当</li> <li>・歴史博物館</li> </ul>

No	総合計画 施策の方向	主な関係事業名	担当課・担当
17	生涯学習施設の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧地区公民館管理事業</li> <li>・千代田公民館管理事業</li> <li>・図書館運営事業</li> <li>・蔵書整備事業</li> <li>・ブックスタート事業</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・霞ヶ浦中地区公民館</li> <li>・千代田中地区公民館</li> <li>・下稲吉中地区公民館</li> <li>・図書館</li> </ul>
18	生涯学習情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習情報提供事業</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育担当</li> </ul>
19	スポーツ・レクリエーション活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かすみがうらマラソン大会開催事業</li> <li>・市民ふれあいスポーツ推進事業</li> </ul>	スポーツ振興課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興担当</li> </ul>
20	スポーツ・レクリエーション施設の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ふれあいスポーツ推進事業</li> <li>・体育センター管理運営事業</li> <li>・わかぐり運動公園管理運営事業</li> <li>・多目的運動広場管理運営事業</li> <li>・戸沢公園運動広場管理運営事業</li> <li>・第1常陸野公園管理運営事業</li> </ul>	スポーツ振興課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興担当</li> <li>・施設維持管理担当</li> </ul>
21	スポーツ・レクリエーション団体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ団体育成事業</li> </ul>	スポーツ振興課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興担当</li> </ul>
22	文化財などの伝承と保護・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士見塚古墳公園管理運営事業</li> <li>・文化財保護事業</li> <li>・埋蔵文化財事業</li> <li>・帆引き船保存活用対策事業</li> <li>・歴史博物館管理運営事業</li> <li>・ジオパーク推進事業</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化振興担当</li> <li>・歴史博物館</li> </ul>
23	ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史博物館管理運営事業</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史博物館</li> </ul>
24	芸術・文化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術振興事業</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育担当</li> </ul>
25	観光との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士見塚古墳公園管理運営事業</li> <li>・歴史博物館管理運営事業</li> <li>・ジオパーク推進事業</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化振興担当</li> <li>・歴史博物館</li> </ul>
26	コミュニティ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館活動推進事業</li> <li>・公民館コミュニティ活動事業</li> </ul>	生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・霞ヶ浦中地区公民館</li> <li>・千代田中地区公民館</li> <li>・下稲吉中地区公民館</li> </ul>

## 第2章 教育委員会の活動

### 1 教育委員会

地方公共団体が、教育・学術・文化に関する事務を行う場合は、その性質上、政治的中立を維持すること、行政が安定していること、住民の意思を反映することが求められます。かすみがうら市教育委員会は、教育長と4人の委員で組織され、教育についての方針・施策は、この教育委員会での合議によって決められており、学校の組織編制、教育課程、教科書、その他の教材の取扱い、および教育職員の身分取扱いに関する事務を取り扱うとともに、社会教育やその他教育、学術および文化に関する事務を管理し執行します。

(教育委員会構成 平成31年3月31日現在)

職名	氏名	任期	期数
教育長	大山 隆雄	平成30年6月25日就任 令和3年6月24日満期	3期
委員 (教育長職務代理者)	田澤 高保	平成30年10月1日就任 令和4年9月30日満期	2期
委員	中島 和彦	平成29年6月25日就任 令和2年6月24日満期	3期
委員	宮本 雪代	平成28年6月25日就任 令和元年6月24日満期	2期
委員	坂本 雅子	平成29年6月25日就任 令和3年6月24日満期	1期

### 2 教育委員会の開催状況

合議制の執行機関である教育委員会の会議においては、かすみがうら市教育委員会の教育長に対する事務委任規則第2条各号に掲げる事務や、特に協議を有する事項について、審議し、決定するものであり、その他は教育長に委任し処理させています。

教育委員会の会議には、定例会と臨時会があり、定例会は毎月開催し、臨時会は必要に応じて招集しています。

\*平成30年度開催状況

定例会	12回(毎月1回)
臨時会	3回

### 3 教育委員会定例会・臨時会開催状況

#### (1) 平成30年度教育委員会 協議内容

開 催	議案報告番号	件 名
4月定例会	報告第 2号	かすみがうら市青少年相談員の解職及び委嘱について
"	報告第 3号	かすみがうら市学校運営協力員の委嘱について
"	議案第 15号	かすみがうら市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する訓令
5月定例会	報告第 4号	かすみがうら市図書館協議会委員の解嘱および委嘱について
"	報告第 5号	かすみがうら市公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について
"	報告第 6号	かすみがうら市社会教育委員の解嘱及び委嘱について
"	報告第 7号	かすみがうら市教育支援委員会の解嘱及び委嘱について
"	報告第 8号	かすみがうら市千代田中学校区統合小学校整備基本計画策定委員の解嘱及び委嘱について
6月定例会	報告第 9号	かすみがうら市教科指導委員の解嘱及び委嘱について
"	報告第 10号	かすみがうら市学区審議会委員の解嘱及び委嘱について
"	議案第 16号	平成31年度使用教科用図書の採択について
7月定例会	議案第 17号	かすみがうら市教育支援センター設置規則の一部を改正する規則について
"	議案第 18号	かすみがうら市立学校事務の共同実施に関する規程の一部を改正する訓令について
"	議案第 19号	かすみがうら市運動部活動の方針の策定について
8月定例会	報告第 11号	かすみがうら市コミュニティ推進委員の委嘱について
"	議案第 20号	かすみがうら市廃棄物減量等推進審議会委員の推薦について

開 催	議案報告番号	件 名
8 月定例会	議案第 21 号	かすみがうら市教育委員会事務点検評価委員の委嘱について
"	議案第 22 号	議案に係る意見聴取について
9 月臨時会	議案第 23 号	議案に係る意見聴取について
10 月定例会	議案第 24 号	かすみがうら市運動部活動の方針の一部改訂について
"	議案第 25 号	平成 30 年度かすみがうら市一般会計補正予算（第 5 号）について
"	議案第 26 号	平成 30 年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の結果に関する報告書（平成 29 年度対象）について
11 月定例会	報告第 12 号	かすみがうら市小中学校薬剤師の解嘱及び委嘱について
"	議案第 27 号	かすみがうら市公民館設置及び管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
"	議案第 28 号	かすみがうら市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令
12 月定例会	議案第 29 号	かすみがうら市博物館協議会委員の任命について
2 月定例会	議案第 1 号	議案に係る意見聴取（平成 30 一般会計補正予算について（第 7 号））
"	議案第 2 号	議案に係る意見聴取（平成 31 一般会計当初予算）
"	議案第 3 号	小中一貫教育推進に係る各中学校区における「めざす子ども姿」の策定について
3 月臨時会	議案第 4 号	平成 31 年度教職員人事異動の内示について
3 月定例会	報告第 1 号	かすみがうら市博物館協議会委員の解嘱及び委嘱について
"	議案第 5 号	社会教育指導員の委嘱について
"	議案第 6 号	かすみがうら市スポーツ推進委員の委嘱について

開 催	議案報告番号	件 名
3月定例会	議案第 7号	かすみがうら市文化財保護審議会委員の委嘱について
"	議案第 8号	かすみがうら市教育委員会職員人事異動について
"	議案第 9号	平成 31 年度かすみがうら市学校教育指導方針の策定について
"	議案第 10号	かすみがうら市学校運営協力員の委嘱について

議案件数 25 件  
報告件数 12 件  
計 37 件

### 第3章 点検及び評価結果

#### 1 学校教育の充実

様式1 (自己点検評価書類)

No. 1	施策の方向	教育環境の計画的な整備推進	担当課・担当	
			学校教育課 ・教育施設担当	
施策の内容	「かすみがうら市小中学校の適正規模化実施計画」と整合性を図りながら、計画的な整備・充実を図ります。			
事業名 及び事業費	事業名	30年度決算額	令和元年度予算額	
	・旧小学校施設維持管理事業	7,180千円	4,853千円	
	・小学校施設維持管理事業	58,645千円	57,555千円	
	・美並小学校施設統合環境整備事業	7,571千円	-	
	・千代田中学校区統合小学校環境整備事業	19,358千円	50,143千円	
	・中学校施設維持管理事業	29,185千円	31,091千円	
	・中学校施設維持管理事業	8,424千円	4,443千円	
	・中学校施設耐震促進事業	12,423千円	1,342千円	
	・霞ヶ浦中学校施設統合環境整備事業	1,728千円	27,181千円	
	・下稻吉中学校施設整備事業	162千円	72,958千円	
<p>【平成30年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧小学校施設維持管理事業 廃校施設の維持管理について引続き管理業務（各種保守点検）を行った。</li> <li>・小学校施設維持管理事業 小学校施設における経常的な維持管理業務を行った。（光熱水費、保守点検業務、手数料、修繕費等）</li> <li>・美並小学校施設統合環境整備事業（政策） 霞ヶ浦南小学校の給食室改築に伴い、既存給食室の改修工事（会議室、教材庫）を実施した。</li> <li>・千代田中学校区統合小学校環境整備事業（政策）</li> </ul>				

昨年度策定した基本計画書をもとに基本設計業務を実施した。

・ 中学校施設維持管理事業

中学校施設における経常的な維持管理業務を行った。(光熱水費、保守点検業務、手数料、修繕費等)

・ 中学校施設維持管理事業(政策)

霞ヶ浦中学校における特別教室の空調設備を更新した。

・ 中学校施設耐震促進事業(政策)

霞ヶ浦中学校武道場の非構造部材(天井)の耐震対策工事を実施した。

・ 霞ヶ浦中学校施設統合環境整備事業(政策)

霞ヶ浦中学校の給食室改築に伴い、既存給食室における改修工事の設計業務を実施した。

・ 下稲吉中学校施設整備事業(政策)

狭隘である下稲吉中学校屋内運動場の改善に向けて、今後の用地取得に係る不動産鑑定業務を実施した。

【課題・今後の対応】

・ 旧小学校施設維持管理事業

霞ヶ浦地区の小学校が廃校して3年が経過した。旧安飾小及び旧穴倉小の有効活用の整備が進む中、残る4施設(旧下大津、牛渡、佐賀、志土庫小)については、令和元年度末をもって普通財産として所管換えを行う。

・ 小学校施設維持管理事業

統廃合の対象校となっている施設(新治、七会、上佐谷小)の老朽化が進み、大変厳しい状況である。教育環境の公平性も配慮し、できる限りの修繕を行う必要がある。また、経常経費(光熱水費等)については、空調設備の充実化を図るなか、効率的な節電対策にも取り組んでいく必要がある。

・ 千代田中学校区統合小学校環境整備事業(政策)

平成29年度に基本計画を策定。平成30年度から設計業務を実施し、今年度設計作業が完了する。整備については莫大な費用が掛かるため、有効な補助制度や起債を活用し、市の財政状況を検討しながら整備を進めるとともに、令和4年度の開校に向けての準備を行う。

・ 中学校施設耐震促進事業(政策)

霞ヶ浦中学校の武道場の非構造部材の耐震対策(天井改修)は完了した。今後は千代田中及び下稲吉中の非構造部材についても計画的に進めていく。

・ 下稲吉中学校施設整備事業(政策)

下稲吉中学校の屋内運動場整備については、生徒数に適した施設の規模を計画し、地域の防災機能を有した施設としても検討を進めていく。

**【実施事業の内部評価】**

- A．大いに達成できた
- B．達成できた
- C．だいたい達成できた
- D．あまり達成できなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

下稲吉中学校の屋内運動場の改善に向けて、生徒数に応じた規模にするとともに、防災機能を有した地域の拠点の施設となるよう計画を進める必要がある。

千代田中学校区統合小学校環境整備事業においては、児童が安全で快適に学校生活を送ることができる施設となるよう努めるとともに、将来的な児童生徒数の減少に対応するため特色ある学校づくりに向けた基本構想を検討する必要がある。

千代田地区の廃校となる小学校の利活用についての検討を早急に進める必要がある。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No. 2	施策の方向	教育環境の計画的な整備推進		担当課・担当
				学校教育課 ・学校教育担当
施策の内容	児童生徒数の減少に伴い、教育環境を改善するため学校の統廃合を推進します。			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・ 学区審議会設置事業	0 千円	480 千円	
	・ 学校統合推進事業	3,804 千円	3,943 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学区審議会設置事業 年度内の審議案件が無かったため、学区審議会は開催していない。</li> <li>・ 学校統合推進事業 霞ヶ浦地区の統合小学校（霞ヶ浦北・南小学校）へ、児童の学校生活支援のため T T 非常勤講師を各校 1 名継続して配置した。 千代田中学校区統合小学校整備基本計画を策定し、学校統合に関する P T A 説明会を実施した。</li> </ul>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学区審議会設定事業 小中一貫校（義務教育学校）の特認校制度活用のための諮問を検討する。</li> <li>・ 学校統合推進事業 千代田地区の学校統合のために統合委員会を設置し、目標年度までにスムーズに開校準備ができるよう努める。</li> </ul>				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A . 大いに達成できた</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> B . 達成できた</li> <li>C . だいたい達成できた</li> <li>D . あまり達成できなかった</li> </ul>				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>千代田中学校区小学校の統合に向けて、統合委員会の設置や小中一貫校における選択制（特認校制）に向けての諮問をするなどし、保護者をはじめ関係者が納得して歓迎できる開校となるよう丁寧な取り組みを進めることを期待する。</p>				

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 3	施策の方向	教育環境の充実		担当課・担当
				学校教育課 ・学校教育担当
施策の内容	I C T 機器を計画的に更新し、デジタル教科書の導入を行うとともに、教職員に対して研修機会を設け、活用技能の向上を図ります。			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・小学校コンピューター設置事業	15,756 千円	21,999 千円	
	・中学校コンピューター設置事業	11,975 千円	12,106 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <p>・小中学校コンピューター設置事業（政策）</p> <p>各学校のパソコン教室に設置している生徒用及び教師用のタブレットパソコンについて適正な維持管理を行った。</p> <p>タブレットパソコンの活用方法に関する研修を各校年 1 回行っている。</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>令和元年度に小学校 6 校の教育用タブレットパソコンの入替を実施し、最新機種への入替と同時に電子黒板の追加配置なども実施しているが、今後も I C T 環境の充実に向けて継続した財源の確保が必要である。</p> <p>また、I C T 教育を推進するにあたりパソコン教室だけの活用ではなく学校内全体での I C T 活用を目指して環境の整備を進める。</p>				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A . 大いに達成できた</p> <p>B . 達成できた</p> <p>C . だいたい達成できた</p> <p>D . あまり達成できなかった</p>				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>教育用タブレットパソコンの入替を実施し、最新機種を導入していることは評価できる。ICT 環境の充実を図るためには多額な財源を必要とするが、今後も ICT 環境充実に向け財源確保と有効活用を図り、将来的には、電子黒板を普通教室に 1 台ずつ整備することを期待する。</p>				

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 4	施策の方向	教育環境の充実	担当課・担当	
			学校教育課 ・学校教育担当	
施策の内容	学校図書館蔵書の整備と司書の配置により読書意欲向上に繋がる環境の整備に努めます。			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・小学校図書室運営事業	3,768 千円	3,817 千円	
	・中学校図書室運営事業	4,121 千円	4,483 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校図書室運営事業           <p>学校図書室の蔵書の充実を図るため、図書を購入。また、図書の振興及び児童の読書意欲の向上に資する目的で、霞ヶ浦南小学校を拠点校として図書館司書 1 名を配置。中学校に配置した司書 3 名を各小学校へ派遣。</p> <p>大規模小学校については、蔵書管理システムを活用し、利便性のある環境を整備。図書館司書を中心に市立図書館の蔵書の活用を推進した。</p> </li> <li>・中学校図書室運営事業           <p>学校図書室の蔵書の充実を図るため、図書を購入。また、図書の振興及び生徒の読書意欲の向上に資する目的で、各中学校に図書館司書を配置 ( 1 名 / 校 )。図書室だよりにより学級毎の読書冊数ランキングやお勧め図書の紹介をすることで利用冊数も増加傾向にある。</p> <p>全中学校で蔵書管理システムを活用し、より利便性のある環境を整備。</p> <p>県事業である学校図書館支援事業 ( 平成 30 年度からの 2 ヶ年事業 ) に霞ヶ浦中学校及び下稲吉中学校をモデル校として指定し、県立図書館や市立図書館と連携した図書利用の活性化に努めた。</p> </li> </ul>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>今後の千代田地区小学校の統合を見据え、学校へ配置する図書の均一化と有効活用を目指す。</p> <p>限られた予算の中でより学習・教育に役立つ図書の選定・購入に努める。</p>				

**【実施事業の内部評価】**

- A．大いに達成できた
- B．達成できた
- C．だいたい達成できた
- D．あまり達成できなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

霞ヶ浦中学校と下稲吉中学校が県の学校図書館支援事業のモデル校となり、市立図書館や県立図書館と連携した図書利用を図っていることは大いに評価できる。「主体的・対話的で深い学び」を推進するためにも今後も図書利用の活性化を図ることを期待する。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 5	施策の方向	教育環境の充実	担当課・担当	
			学校教育課 ・学校教育担当	
施策の内容	児童生徒の健康管理の指導や安全確保に努めます。			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・ 小学校保健事業	6,370 千円	6,669 千円	
	・ 小学校児童安全推進事業	2,535 千円	2,577 千円	
	・ 小学校児童安全推進事業	14 千円	45 千円	
	・ 中学校保健事業	2,893 千円	3,053 千円	
	・ 中学校生徒安全推進事業	1,379 千円	1,312 千円	
	・ 中学校生徒安全推進事業	168 千円	220 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校保健事業            児童の健康の維持及び確保を目的に、各校に学校医（内科医・眼科医・歯科医・薬剤師）を配置し、就学児の健康診断並びに在学児の健康診断と健康管理を実施した。            また、学校保健委員会（教職員・PTA）を組織し、体力測定や健康診断の結果などの検証を実施した。</li> <li>・ 小学校児童安全推進事業            学校生活における活動や登下校時の事故及び怪我などの対応や安全の確保を目的に、日本スポーツ振興センター災害共済への加入促進、自動体外式除細動器（AED）の校内への継続設置等を実施した。            「かすみがうら市子どもを守る母の会」への補助事業を実施し、地域ぐるみの非行防止活動に努めた。</li> <li>・ 中学校保健事業            生徒の健康の維持及び確保を目的に、各校に学校医（内科医・眼科医・歯科医・薬剤師）を配置し、在学生の健康診断と健康管理を実施した。            また、学校保健委員会（教職員・PTA）を組織し、体力測定や健康診断の結果などの検証を実施した。</li> </ul>				

<p>・中学校生徒安全推進事業</p> <p>学校生活における活動や登下校時の事故及び怪我などの対応や安全の確保を目的に、日本スポーツ振興センター災害共済への加入促進、自動体外式除細動器（AED）の校内への継続設置、自転車通学生徒用ヘルメットの購入助成等を実施した。</p>
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>・小学校保健事業・中学校保健事業</p> <p>感染症の疾病は学校内で発生すると集団的となる傾向にあることから、日頃より児童生徒への感染予防や拡大防止、予防に係る啓発や体力向上を図ります。</p> <p>・小学校児童安全推進事業、中学校生徒安全推進事業</p> <p>AEDの継続設置と併せて、操作研修及び機器点検も毎年、継続的に実施する必要がある。</p>
<p>【実施事業の内部評価】</p> <p>A．大いに達成できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B．達成できた</p> <p>C．だいたい達成できた</p> <p>D．あまり達成できなかった</p>
<p>【その他】</p>
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>感染症に係る児童生徒への感染予防や拡大防止及び予防の啓発等に留意し、実施計画に基づいた通年にわたる取り組みを油断することなく進める必要がある。</p> <p>学校保健委員会における検証実施においては、児童生徒のプライバシーの確保が必要である。</p> <p>自転車通学用ヘルメットの購入助成については、スクールバス利用者の状況等を勘案し、助成額を検討する必要がある。</p>

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 6	施策の方向	教育環境の充実	担当課・担当	
			学校教育課 ・学校教育担当	
施策の内容	その他			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・ 小学校管理運営事業	33,859 千円	35,475 千円	
	・ 小学校管理運営事業	139,723 千円	141,634 千円	
	・ 小学校教材備品整備事業	3,993 千円	3,920 千円	
	・ 中学校管理運営事業	16,178 千円	17,877 千円	
	・ 中学校管理運営事業	33,855 千円	35,675 千円	
	・ 中学校教材備品整備事業	3,737 千円	3,650 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校管理運営事業           <p>消耗品の購入及び修繕等に係り、児童数と学校規模に応じた予算配当を行い、各校の事業スケジュールに合わせた予算の執行に努めた。</p> <p>平成 28 年度から遠距離通学の児童を対象としたスクールバスを継続運行している。(霞ヶ浦南小学校 10 コース、霞ヶ浦北小学校 8 コース)</p> <p>学校施設の維持管理に係る軽作業等を実施する学校校務員を 2 名配置(小学校 5 校を分担)し、児童がより良い環境で過ごせるよう努めた。</p> </li> <li>・ 小学校教材備品整備事業           <p>児童の学力向上及び授業の効率化を目的に教材・教具の購入を実施し、その充実に努めた。</p> </li> <li>・ 中学校管理運営事業           <p>小学校と同様に予算配当を行い、予算の適正執行に努めた。また、学校校務 3 名(中学校 3 校及び小学校 3 校を分担)を配置し、生徒等がより良い環境で過ごせるように努めた。小学校と合せた 5 名の学校校務員により市内全小中学校の学校環境の改善・整備を実施している。</p> <p>霞ヶ浦中学校においては、遠距離通学の生徒を対象としたスクールバスを継続運行している。(4 コース)</p> </li> </ul>				

・ 中学校教材備品整備事業

生徒の学力向上及び授業の効率化を目的に教材・教具の購入を実施し、その充実に努めた。

【課題・今後の対応】

・ 小学校管理運営事業、中学校管理運営事業

小中学校の管理運営費については、児童生徒数の他、施設規模等が異なることから必要とする予算が異なるため、学校ごとの予算の必要性を見極めながら適正な予算の確保と執行に努める必要がある。

統合した小学校でのスクールバス運行については、利用児童の年齢が低いことに伴い、より安全確保の徹底に努める。また、中学校のスクールバス運行については、国の補助制度が平成 30 年度で終了となるため、財源の確保が必要である。

・ 小学校教材備品整備事業、中学校教材備品整備事業

小中学校の教材備品整備については、今後の千代田地区の学校統合も見据えて、購入の優先順位を念頭に置きながら学校と連携を図り、安定した備品の確保を図っていく必要があり、必要な備品の採択と整備に努めることが重要である。

【実施事業の内部評価】

A . 大いに達成できた

B . 達成できた

C . だいたい達成できた

D . あまり達成できなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

児童生徒数と学校規模に応じた予算配当を行い、予算の適正執行に努めていることは評価できる。また、スクールバス運行については、引き続き安全確保の徹底に努めるとともに、財源の確保等について検討する必要がある。

児童生徒がより良い環境で学校生活を送ることができるよう、学校校務員雇用の継続を期待する。

新学習指導要領に対応した教材の整備を計画的に進める必要がある。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 7	施策の方向	教育環境の充実	担当課・担当	
			学校教育課 ・ 学校教育担当 ・ 教育施設担当	
施策の内容	児童生徒の望ましい食習慣づくりを推進するとともに、学校給食に地域の食材を活用したメニューづくりに努めます。			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・ 小学校給食管理運営事業	7,877 千円	7,744 千円	
	・ 小学校給食管理運営事業	57,098 千円	57,777 千円	
	・ 中学校給食管理運営事業	4,958 千円	4,965 千円	
	・ 中学校給食管理運営事業	46,240 千円	45,763 千円	
<b>【平成 30 年度取組内容】</b> ・ 小学校給食管理運営事業 学校給食調理業務を民間に委託し、自校方式（2 校のみ親子方式）による学校給食の運営を実施した。また、調理設備等の修繕・更新も優先度の高いものから順次対応した。 ・ 中学校給食管理運営事業 学校給食調理業務を民間に委託し、自校方式による学校給食の運営を実施した。また、調理設備等の修繕・更新も優先度の高いものから順次対応した。				
<b>【課題・今後の対応】</b> ・ 小学校給食管理運営事業、中学校給食管理運営事業 各校の施設及び設備の老朽化が進んでいるため、安定した給食の供給が行えるよう設備等の定期点検を令和元年度に実施中であり、その結果を踏まえ、学校統廃合も見据えて、対応していく必要がある。また、食物アレルギー対策については、対象児童生徒への給食費の一部返金（牛乳分）を継続し、食物アレルギー対応マニュアルに基づく継続した対応が必要である。 また、教職員の働き方改革も踏まえ、令和 3 年度より学校給食費の公会計化を実施する予定である。				

**【実施事業の内部評価】**

- A．大いに達成できた
- B．達成できた
- C．だいたい達成できた
- D．あまり達成できなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

学校調理業務を民間に委託し、計画的に調理設備等の修繕や更新して対応していることは評価できる。

最近、食アレルギー人口が多くなっているので、小中学校において自校方式の給食を継続することは、食物アレルギーのある児童生徒に対して除去食を提供できるなど効果的である。

教職員の働き方改革の一環から学校給食費の公会計化が予定されていることは大いに評価できる。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No. 8	施策の方向	教育環境の充実	担当課・担当	
			学校教育課 ・総務担当	
施策の内容	その他			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・教育委員会運営事業	2,766 千円	2,759 千円	
	・教育委員会事務局運営事業	12,002 千円	11,061 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会運営事業 教育委員会会議（定例会 12 回・臨時会 3 回）を開催し、教育についての方針・施策などを合議により決定した。</li> <li>・教育委員会事務局運営事業 教育委員会事務局の所管事務、教育バスの管理及び運行を実施した。</li> </ul>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会運営事業 教育委員会会議及び総合教育会議を開催し、本市教育行政の更なる充実を図る。 教育委員会会議に係る情報の発信について遅滞なく遂行するよう努める。</li> <li>・教育委員会事務局運営事業 教育振興基本計画を踏まえた各種事業の遂行に努める。 教育委員会及び市が主催する事業の際に、子どもから高齢者まで様々な学習活動時に使用する教育バスの更なる安全運行を図る。</li> </ul>				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A．大いに達成できた</li> <li>B．達成できた</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> C．だいたい達成できた</li> <li>D．あまり達成できなかった</li> </ul>				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、教育振興基本計画を適宜見直していくとともに、各種事業の遂行については国や県の動向に留意し、より一層 PDCA サイクルを重視した魅力ある教育行政の実施を期待する。</p>				

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 9	施策の方向	教育内容の向上	担当課・担当	
			学校教育課 ・ 学校教育担当 ・ 教育指導室	
施策の内容	基礎的・基本的な学習の定着や一人一人の習熟度に合わせた主体的な学習を進め、グループ学習などの協同的な学習を積極的に取り入れ、情報化や国際化などに対応した教育を進めます。さらには、本市の自然環境を活用した環境教育や福祉施設、各種事業所での社会体験を取り入れるなど、地域に合った教育の実践に取り組むとともに、児童生徒の心と体の健康づくりを推進するため、体育指導の充実、健康教育の推進を図ります。また、特別の支援を要する児童生徒のそれぞれのニーズに対応した指導に努めます。			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・ 教育指導事業	130 千円	200 千円	
	・ 教育指導事業	2,596 千円	1,805 千円	
	・ 指導主事設置事業	29,573 千円	30,300 千円	
	・ 指導主事設置事業	103 千円	108 千円	
	・ 英語指導助手設置事業	19,440 千円	23,544 千円	
	・ 教育推進団体設置事業	55 千円	55 千円	
	・ 教育推進団体設置事業	3,056 千円	3,100 千円	
	・ 中学校部活動支援事業	303 千円	331 千円	
	・ 中学校部活動支援事業	15,655 千円	15,000 千円	
	・ 小学校教育振興事業	11,762 千円	12,275 千円	
・ 中学校教育振興事業	10,675 千円	10,636 千円		

## 【平成 30 年度取組内容】

### ・教育指導事業

土浦・石岡・かすみがうらの3市で構成する茨城県第6採択地区教科用図書選定協議会の事務局として、令和元年度使用教科用図書のうち小学校の全教科（「道徳」を除く）、中学校特別の教科「道徳」及び小・中学校特別支援学級用教科用図書の整備を実施した。また生徒の学力向上を図るための教師用指導書を整備した。なお中学校にはデジタル教科書（数学・社会・理科）を継続整備した。

### ・指導主事設置事業

県からの派遣により指導主事3名を配置し、学校運営に係る各種指導及び計画訪問等での職員への指導、助言及び教職員の服務規律の確保と学校事故の未然防止、並びに円滑な人事異動等を実施した。

### ・英語指導助手設置事業

A L T（外国語指導助手）を中学校（3名/3校）及び小学校（2名/8校）に配置し、中学生の英語科授業と小学生の外国語活動における初期実践英語の習熟を実施し、国際化教育の充実を図った。

### ・教育推進団体設置事業

市の教職員等で組織する「かすみがうら市教育研究会」の活動を助成し、教育水準の向上と教職員等の資質向上を図った。

### ・中学校部活動支援事業

中学生の競技意欲の向上と心技体の強化及び協調性の育成を目的に各部活動に係る経費を助成し、また、「かすみがうら市運動部活動の方針」を策定することで、教職員の負担軽減と部活動の円滑な運営を推進することで生徒の健全育成を図った。

### ・小学校教育振興事業

観察実験アシスタントの配置による理科の実験準備や理科準備室の整備の推進。

夏季休業中5日間、全小学校の4年生と5年生の学びの広場のサポーターを、クラスごとに配置し実施した。

複式学級を有する学校において、継続して1複式学級にT T非常勤講師1名ずつ（1小学校2学級）を配置し、円滑な学級運営を図った。

霞ヶ浦北小学校に学校生活相談員を常時2名（計4名中）継続配置し、児童の見守りを実施した。

### ・中学校教育振興事業

課題のある生徒への対応として、学校生活相談員（警察OB）を2中学校に常時2名（計4名）を登校時から下校まで継続配置した。生徒の見守り活動や必要に応じて警察との連携を実施した。

小中教育の連携を図るため、非常勤講師を3名配置し、外国語（英語）の授業補助を実施した。

## 【課題・今後の対応】

### ・教育指導事業

文部科学省において定期的に指導要領が改正され、その都度、新しい教科書が採択されることとなり、それに対応した指導書を整備するための財源の確保や新しい指導要領に適合した教育環境を整備していくことが重要である。また、プログラミング教育の導入に対応したデジタル教材等を導入し、指導力向上に努める。

### ・指導主事設置事業

新学習指導要領が、小・中学校において適用され、授業数が増加になる他、生徒指導の問題や特別支援教育の充実など、学校における様々な諸問題が増えつつあり、今後も指導主事の役割は重要である。また、社会情勢などの諸変化に伴い指導方法・学校運営・保護者のニーズなどが常に変化しつつあり、これらの変化を捉え学校運営の適切な指導助言を行い、さらに、教職員の服務体制の確立及びコンプライアンス委員会等の実施内容を確認し、指導を継続していく。

### ・英語指導助手設置事業

新学習指導要領により小学校に外国語活動が導入され、先行して小学校へA L T（外国語指導助手）の導入を図ってきた。令和2年度（茨城県では令和元年度）より小学校第3・4学年では外国語活動の時間が年間35時間となり、第5・6学年では外国語活動が教科化され、年間70時間となることから、今後も小学校における外国語の教科化及び中学校英語科授業における児童生徒への体験に不足が生じないように、A L T（外国語指導助手）を令和元年度から1名増員しており、財源の継続的な確保を図っていく必要がある。

### ・教育推進団体設置事業

教育水準の維持と向上を図っていくため、その指導方法等において市教育研究会を通じ、学校間と教職員間の連携を図っていくことが引き続き重要である。

### ・中学校部活動支援事業

中学校の部活動においては、教育活動としての有効性が認められており、継続した活動の支援が必要である。また、その成果でもある茨城県大会及び関東大会、全国大会には複数の部が出場を果たし、引き続き支援が必要である。

また、「運動部活動の方針」に加え、文化部の活動方針も令和元年度に策定中である。

### ・小学校教育振興事業

観察実験アシスタントの機能的な配置と学びの広場のサポーターの確保が必要である。

### ・中学校教育振興事業

授業離脱生徒に進路目標を持たせるための教師と生徒の人間関係づくりと個別の学習支援を図っていく必要がある。

**【実施事業の内部評価】**

- A．大いに達成できた
- B．達成できた
- C．だいたい達成できた
- D．あまり達成できなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

学力差や技能差、性差など様々な違いに応じた教育の充実を図り、一人一人の違いに応じたきめ細かい指導ができるよう教職員の研修を図るとともに、指導主事をはじめ各種人員の配置について、特段の配慮をした予算措置を期待する。

「かすみがうら市運動部活動の方針」については、生徒の健康安全を確保する観点からも遵守されるよう点検する必要がある、部活動指導員の配置についても検討する必要がある。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 1 0	施策の方向	教育相談の充実	担当課・担当	
			学校教育課 ・学校教育担当 ・教育指導室	
施策の内容	教育相談員やスクールカウンセラーを配置し、児童生徒の心のケアに努め、教育に係る相談やサポート体制の充実を図ります。また、学校、行政、医療機関との連携により、社会環境や学習環境の変化に迅速な対応を図り、総合的な教育相談体制の整備をするとともに、全校で学校いじめ防止活動の推進を図りながら、学校、行政、警察署など関係機関の連携の基に、組織的な取り組みを推進します。			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・教育支援委員会設置事業	255 千円	255 千円	
	・学校支援員設置事業	22,658 千円	27,978 千円	
	・教育相談事業	4,307 千円	4,371 千円	
	・教育相談事業	918 千円	937 千円	
	・小学校就学支援事業	12,305 千円	19,698 千円	
	・中学校就学支援事業	15,610 千円	14,052 千円	
<b>【平成 30 年度取組内容】</b> ・教育支援委員会設置事業 教育支援委員会を組織し、心身の障がい等により通常の学級への就学が困難と判断される児童生徒の就学先の判定とその指導を実施した。 ・学校支援員設置事業 心身に障がいのある児童生徒に学校支援員 22 名を配置し、個々の介助により学校生活の円滑化を図った。 ・教育相談事業 適応指導教室(ひたちの広場)を設置し、不登校児童生徒の集団生活への適応指導を行うことにより学校への復帰支援を実施した。 また、いじめの未然防止については、「学校いじめ防止基本方針」、「市いじめ防止等に関する条例」、「市いじめ防止基本方針」に基づき、C A P いばらき(いじめ防止プログラム)による講師派遣による研修を実施した。				

・小学校就学支援事業、中学校就学支援事業

家庭の経済的事情により就学が困難な児童生徒に対し、就学援助費の支給を実施した。また、知的・情緒・言語等の障害により特別支援学級に通級する児童生徒に対し、保護者の負担軽減を図る目的で就学奨励費の支給を実施した。

小学校の就学時健康診断において、就学援助制度の資料を配布し、制度の周知を図ると共に就学援助対象世帯への入学準備金の就学前支給を行った。

【課題・今後の対応】

・教育支援委員会設置事業

小学校就学前の幼児を持つ保護者から通常の学級での適応に対する調査員による相談を求められるニーズがある。さらに、就学後にも支援が必要と思われる児童が生ずるなど、対象児童を把握する方法に工夫が必要と考えられる。また、特別支援教育の必要性の検討を要する児童生徒を把握するため、児童生徒の状況を十分に把握し、関係機関との連携を図りながら判断する必要がある。

・学校支援員設置事業

障がいのある児童生徒の通常の学級への就学希望が増えており、これに伴い学校助員の需要も増してきていることから、必要な人材の確保に努める。なお、令和元年度は平成30年度から3名増員し、合計25名の学校支援員を配置している。

・教育相談事業

保護者等からの教育相談におけるニーズは今後も増加するものと考えられるため、今後の相談体制の充実と学校等との連携の取れた活動が必要である。

また、いじめ問題については、平成27年度よりいじめの認知に関する認識を強化するよう国から通達があったため、各校へ認知強化するよう指導するとともに、「市いじめ防止等に関する条例」及び「市いじめ防止基本方針」の施行に基づいて、早期発見・未然防止に努める。また、学校、教育委員会、福祉事務所、警察署その他関係機関と連携し対応を図る。

いじめの重大事態に係る案件については、引き続き調査を行い、再発防止に向けた取組を行う必要がある。

・小学校就学支援事業、中学校就学支援事業

景気が低迷する中、就学支援を求める保護者が増加傾向にあると推定されるため、財源の確保と適正な認定基準の精査が必要である。平成30年度から認定基準を「世帯収入」から「世帯所得」に改めたことにより、申請件数が増加傾向にあり、適正な認定処理を行うため、事務処理のシステム導入などの効率化が必要である。また、令和元年度から新入学児全員へ入学祝い品として「ランドセル」を無償支給する予定である。

**【実施事業の内部評価】**

- A．大いに達成できた
- B．達成できた
- C．だいたい達成できた
- D．あまり達成できなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

いじめ問題については、各学校へのいじめ認知強化指導により、早期発見・未然防止に努める必要がある。児童生徒の立場に立って真のいじめ解消を常に意識しながらチーム学校として取り組み、関係機関との連携により再発防止を図る必要がある。心身に障がいのある児童生徒に学校支援員 22 名を配置し、一人一人の障がいの違いに応じて対応していることや、経済的に就学が困難な児童生徒及び特別支援学級に通級している児童生徒に対し、就学援助費を支給していることは評価できる。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No. 1 1	施策の方向	・子どもミライプロジェクトの展開	担当課・担当	
		・特色ある学校づくり	学校教育課 ・教育指導室	
施策の内容	<p>児童生徒の創造性や活力を生かした様々な体験・交流活動など、学校ごとに地域の特色を生かした取組みを支援します。また、国や市の現状と将来について、子どもたちが理解しやすい教材や映像資料などを制作し、地方創生に関する「出前授業」やまちの未来を考える「子どもミライワークショップ」を開催します。また、地場産品や歴史文化を題材としたキャリア教育を実施します。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	元年度予算額	
	・子どもミライ学習事業	1,973 千円	2,395 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <p>・子どもミライ学習事業</p> <p>小学 6 年生及び中学 1 年生対象の地域産業の担い手から仕事や生活について話を聞く「出前授業」、中学 2 年生対象の市の資源を活かした新商品を考案する「ワークショップ」、中学 3 年生対象の新商品を販売体験する「マルシェ」を実施した。市内各中学校で考案した新商品は、あゆみ祭りやかすみがうら祭、下稲吉中学校文化祭において実際に中学 3 年生が販売体験(各校 300 個販売)を行い、各校とも短時間で完売する盛況を見せ、子どもたちも達成感や満足感を持つことができた。</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>・子どもミライ学習事業</p> <p>中長期的に事業を継続しないと明確な事業成果が得られない事業である。事業開始当初は、対象とする学年を中学 1 年生から中学 3 年生としていたが、中学 3 年生は高校受験や就職活動を含め 1 年をとおして特に学校生活が多忙であるため、対象とする学年を小学 6 年生から中学 2 年生に移行していく予定である。</p>				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <p>A. 大いに達成できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 達成できた</p> <p>C. だいたい達成できた</p> <p>D. あまり達成できなかった</p>				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>児童生徒が主体的に地元の資源を活かした新商品の開発や販売を実施する体験学習により、達成感や充実感をもって地元の産業・歴史文化を理解するというキャリア教育の取組みを大いに評価する。また、活動後の評価を適切に行うことで、深い学びにつながることを期待する。</p>				

## 2 社会性豊かな青少年の健全育成

様式1（自己点検評価書類）

No. 1 2	施策の方向	青少年健全育成活動の促進	担当課・担当	
			生涯学習課 ・社会教育担当	
施策の内容	青少年の健全な育成を図るため、地域活動における指導者の養成に努め、活動団体の連携のもと組織の強化を図るとともに、地域の子ども会やスポーツ少年団、地域行事、奉仕活動など青少年が積極的に自主的活動ができる環境づくりを支援します。			
事業名 及び事業費	事業名	30年度決算額	令和元年度予算額	
	・青少年育成事業	1,261千円	1,265千円	
	・青少年育成事業	2,804千円	2,771千円	
	・学校家庭地域の連携協力推進事業	742千円	961千円	
【平成30年度取組内容】				
<p>・青少年育成事業</p> <p>市子ども会育成連合会</p> <p>平成27年度から市子連役員向けの研修会などを開催し、意識改革に取り組み、以前は市子連のメイン事業であったが、「リーダー研修会（防災キャンプ）」を継続することが出来た。その他、親子つり大会（186人）かすみっ子まつり（42人）親子ふれあいハイキング（111人）など市子連主催事業の支援を行った。</p> <p>家庭の教育力充実事業</p> <p>保護者の教育力の向上を目的に、未就学児保護者向けには、子育てひろばネットワークの企画による、「子育てひろば」事業を年8回開催し、申込者が親子55組202人（参加者が延べ187組543人）となった。また、市内全小中学校の1年生の保護者向けには家庭教育学級を実施（小・中学校に委託）し、11校で56回延べ1,891人の参加となった。（子育て講演会、人権教育等）</p> <p>・学校家庭地域の連携協力推進事業</p> <p>（1）放課後子ども教室推進業務委託</p> <p>下稲吉中学校での「放課後学習支援」【198人申込み、44回延べ1,086人】と下稲吉中学校区を中心とした「放課後体験教室」【11回延べ228人】を実施。</p> <p>（2）土曜日の教育支援体制等構築業務委託</p> <p>いなよし児童館での「いなよし学習広場」【45人申込み、47回延べ415人】と寺子屋「運武館」【43人申込み、23回延べ328人】を実施。</p>				

**【課題・今後の対応】**

**市子ども会育成連合会事業**

市子連の事業が慣例的、継続的、内容も親子で参加するなど、子ども会の趣旨や目的と離れていたため、平成 27 年度は役員に市子連の果たす役割などを改めて理解、認識してもらうよう、意識改革のための研修会や話し合いなどを行った結果、平成 28 年度から「リーダー研修会」が復活することとなり、平成 30 年度は防災キャンプを実施し、今年度はスキー合宿を初めて実施する予定である。また、高校生会活動と連携していくために、高校生会の会員に市子連の指導員として活動してもらう予定である。

**家庭の教育力充実事業**

子育てひろば事業については、参加者は多いが、事業の本来の趣旨「保護者の教育力の向上及び保護者のネットワークづくり」がおろそかになっている傾向が見受けられたため、平成 30 年度から家庭教育講演会を 2 回実施した。今年度から子育てひろばは実施せず、家庭教育講演会のみとする代わりに小中学校だけではなく、幼児教育施設にも保護者向けの家庭教育学級を拡大して委託実施する。

**・学校家庭地域の連携協力推進事業**

下稲吉中学校区三校連支援ボランティアの事業をモデルに「地域の子どもは地域で育てる。」という事業本来の趣旨に基づいた形で、平成 29 年度から、霞ヶ浦中地区でも寺子屋「運武館」を開講し 3 年目となったので、下稲吉中学校区三校連支援ボランティア同様に、完全に自主運営出来るよう支援していく。

**【実施事業の位内部評価】**

- A．大いに達成できた  
B．達成できた  
C．だいたい達成できた  
D．あまり達成できなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

市子連のリーダー研修会の復活や事業の趣旨を見直しながら改善していることは大いに評価できる。

家庭教育学級を従来の小中学校だけでなく、新たに幼児教育施設にも拡充することは評価できる。

「いなよし学習広場」や「寺子屋運武館」の利用者拡大に向けて、課題を整理する必要がある。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 1 3	施策の方向	青少年の健全育成と体制の整備	担当課・担当	
			生涯学習課 ・社会教育担当	
施策の内容	<p>少年非行の早期発見や未然防止のため、青少年相談員を中心に家庭と地域と行政が一体となって、街頭指導や夜間パトロールを行います。</p> <p>また、各種相談や非行防止キャンペーンなどの啓発活動や有害図書類の監視など、家庭、学校、地域、各関係機関や団体と一体となって環境浄化活動を行います。さらには青少年育成市民会議の活動を強化し、市民総ぐるみで青少年の健全育成体制の充実を図ります。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	30年度決算額	令和元年度予算額	
	・青少年育成事業	1,261 千円	1,265 千円	
	・青少年育成事業	2,804 千円	2,771 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <p>・青少年育成事業</p> <p>青少年相談員連絡協議会</p> <p>青少年意識・動向等に対応しながら、市内の巡回指導（月 2 回）や店舗訪問、あいさつ運動、イベントの際のパトロール・啓発活動等を行った。</p> <p>青少年相談員出席率</p> <p>H25 : 294 / 524 56%    H26 : 284 / 544 52.2%    H27 : 289 / 524 55.2%</p> <p>H28 : 273 / 551 49.6%    H29 : 264 / 531 49.7%    H30 : 268 / 541 49.5%</p> <p>青少年育成かすみがうら市民会議</p> <p>「地域の子どもは地域で育てる」の観点から、市民から賛助金をもとに、市民総ぐるみの各種青少年健全育成事業を実施した。</p> <p>中でもウィークエンド・コミュニティー・スクール事業については、今までは社会教育担当が直営で事業の実施をしていたが、平成 28 年度からは、既に青少年の健全育成活動に取り組んでいる団体や部署と連携で取り組むこととしたため、回数（平成 28 年度 10 回 平成 29 年度 9 回 平成 30 年度 9 回）参加延べ人数（平成 28 年度 512 人 平成 29 年度 570 人 平成 30 年度 715 人）共に大きく伸び、子供たちにバラエティに富んだプログラムを提供できた。</p> <p>【内容】</p> <p>青少年相談員連絡協議会・市子ども会育成連合会事業・中学生立志式への助成、少年の主張大会の開催、青少年心身健全育成事業（ジュニア和太鼓講座）やウィークエンド・コミュニティー・スクール事業の実施、成人式での成人者への記念品の贈呈、市子連親子つり大会への助成。</p>				

**【課題・今後の対応】**

・青少年育成事業

市民から賛助金をもとに各種青少年健全育成事業を実施しているが、既存の青少年活動を行っている団体との更なる連携による事業展開が図れるよう活動を支援していく。

**【実施事業の内部評価】**

- A．大いに達成できた
- B．達成できた
- C．だいたい達成できた
- D．あまり達成できなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

青少年相談員連絡協議会が長年継続して活動してきていることに敬意を表するとともに、青少年健全育成に対する市民の更なる意識啓発を期待する。  
ウィークエンドコミュニティースクール事業について、行政主導から活動団体と連携して取り組んだことにより、事業回数や参加人数を向上させたことやバラエティに富んだプログラムで運営できたことは大いに評価できる。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No、 1 4	施策の方向	地域の担い手の育成	担当課・担当	
			生涯学習課 ・社会教育担当	
施策の内容	高校生会や成人式実行委員会などの若者の自主的な活動を支援するとともに、各種団体の交流や連携により、地域の担い手育成に努めます。			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年予算額	
	・青少年育成事業	2,804	2,771 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <p>・青少年育成事業</p> <p>成人主体の成人式典の開催</p> <p>毎年、事前に成人式実行委員会を設置し、成人主体の成人式を目指しており、平成 30 年度は 11 月に成人式実行委員会を設立、会議を重ね、実行委員会企画運営のオープニングアクトを実施することができた。</p> <p>成人式出席状況</p> <p>H24 : 340 / 461 74%    H25 : 326 / 468 70%    H26 : 328 / 445 73.7%</p> <p>H27 : 328 / 461 71.1%    H28 : 343 / 467 73.4%    H29 : 319 / 424 75.2%</p> <p>H30 : 332 / 455 73.0%</p> <p>地域担い手の育成対策</p> <p>地域の担い手発掘、育成のため、高校生会や成人式実行委員会の活動を支援した。また、大人クラブの活動を支援し、若者向けの講座「大人の大学」も開講した。</p> <p>高校生会    会員 14 人【現在 20 人】</p> <p>会議 + 各種催しの手伝いなど    17 回    参加延べ人数 92 人</p> <p>成人式実行委員会    会員 15 人</p> <p>会議 + 成人式    5 回    参加延べ人数 40 人</p> <p>成人式のオープニングアクトの企画及び成人式典の運営</p> <p>大人クラブ    会員 22 人【現在 23 人】</p> <p>会議 + 催し    11 回    参加延べ人数 56 人</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>地域の担い手育成対策</p> <p>高校生会、成人式実行委員会、大人クラブを連携させる事業展開を目指す必要がある。中学生のジュニアリーダーから高校生会、高校生会から成人式実行委員会や子ども会指導者、そして大人クラブへとという流れを作り、地域の担い手の発掘、育成に取り組んでいく。</p>				

**【実施事業の位内部評価】**

- A．大いに達成できた
- B．達成できた
- C．だいたい達成できた
- D．あまり達成できなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

高校生会や成人式実行委員会において、組織の構成員が入れ替わることを考慮した適時適切な支援を継続し、地域の担い手の発掘・育成に取り組み、会員数を増やすことを期待する。

### 3 生涯学習の充実

様式 1 (自己点検評価書類)

No. 15	施策の方向	生涯学習推進体制の確立		担当課・担当
				生涯学習課 ・社会教育担当 ・霞ヶ浦中地区公民館 ・千代田中地区公民館 ・下稲吉中地区公民館 ・図書館 ・歴史博物館
施策の内容	「かすみがうら市生涯学習推進計画」を策定し、計画に沿った生涯学習推進に努めます。また、生涯学習の進むべき方向性や様々な課題に対し、諮問機関など、専門的意見の聴取に努めます。			
事業名 及び事業費	事業名	30年度決算額	令和元年度予算額	
	・生涯学習推進事業	11,272 千円	11,968 千円	
	・公民館運営審議会運営事業	75 千円	225 千円	
	・図書館運営事業	5,415 千円	8,057 千円	
	・歴史博物館管理運営事業	6,692 千円	10,814 千円	
【平成 30 年度取組内容】				
生涯学習課の進むべき方向や様々な課題に対し、学識経験者や関係団体の代表者の方の意見を聞くため、以下の 4 つの諮問機関がある。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進事業 社会教育委員会議の開催（年 2 回）。</li> <li>・公民館運営審議会運営事業 公民館運営審議会の開催（年 1 回）。</li> <li>・図書館運営事業 図書館協議会の開催（年 2 回）。</li> <li>・歴史博物館管理運営事業 かすみがうら市博物館協議会の開催（年 1 回）。</li> </ul>				
【課題・今後の対応】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進事業 平成 28 年度策定の「第 2 次かすみがうら市総合計画」「教育振興基本計画」を踏まえ、実際に生涯学習活動に取り組んでいる市民の意見を取り入れた、具体的かつ実効的なかすみがうら市オリジナルの実施計画「生涯学習推進計画」を平成 29 年度に策定した。今後は社会教育委員会議による進行管理をし、必要に応じ見直しをしていく。</li> </ul>				

**【実施事業の内部評価】**

- A．大いに達成できた
- B．達成できた
- C．だいたい達成できた
- D．あまり達成できなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

生涯学習を推進するためには、「かすみがうら市生涯学習推進計画」を踏まえ市民のニーズを十分に反映させるとともに、新しい視点で取り組み、諮問機関が十分に機能する手立てを講じる必要がある。

「かすみがうら市生涯学習推進計画」を基に、課題に対して改善目標の着実な達成と、目標とする将来の姿(令和4年度目標)の実現を目指す取り組みを確実に進行管理することを期待する。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 1 6	施策の方向	生涯学習機会の提供と生涯学習団体への支援	担当課・担当	
			生涯学習課 ・社会教育担当 ・霞ヶ浦中地区公民館 ・千代田中地区公民館 ・下稲吉中地区公民館 ・文化振興担当 ・歴史博物館	
施策の内容	あらゆる世代や様々な目的に応じたイベント、催し、講座、研修会など、多彩な生涯学習プログラムを提供します。また、各種生涯学習団体が意欲を持って自主活動に取り組めるよう支援します。			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・生涯学習推進事業	1,069 千円	978 千円	
	・女性団体行政事業	700 千円	700 千円	
	・生涯学習市民協働事業	1,200 千円	1,200 千円	
	・霞ヶ浦中地区公民館講座事業	860 千円	1,047 千円	
	・千代田中地区公民館講座事業	373 千円	525 千円	
	・下稲吉中地区公民館講座事業	408 千円	525 千円	
	・文化芸術振興事業	1,000 千円	1,005 千円	
	・歴史博物館管理運営事業	4,380 千円	12,688 千円	
<b>【平成 30 年度取組内容】</b> ・生涯学習推進事業 目的とターゲットを明確にし、ライフステージに合わせた形で平成 27 年度から開講している 子ども大学( 将来を担う子どもたちに大学教授クラスのハイレベルの授業機会を提供し、知的好奇心や学問への興味を持たせるため、県内市町村で初めて開講 ) 大人大学 ( 若者向け講座や地域の課題に関する講座等を開講し、地域の担い手づくりに寄与する ) 高齢者大学 ( 高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり、居場所づくりのために開講 ) など、各事業のグレードアップと定着に取り組				

んだ。

子ども大学 年 8 回 延べ参加者 259 人（聴講生 1 人含む）

大人大学 2 講座 年 4 回 延べ参加者 21 人

高齢者大学 年 8 回 延べ参加者 747 人

・女性団体行政事業

かすみがうらマラソン・かすみがうら祭など各種行事への参加協力、チャリティーショーなど自主事業を開催した。

・生涯学習市民協働事業

市民有志の方で構成する実行委員、自らの企画、運営による生涯学習イベント「ふれあい生涯学習フェア」は、従来の単なる文化祭的事業ではなく、地域づくりの担い手の発掘、育成と生涯学習課が1年間取り組んできた各種事業や関連団体の発表の場として課全体の各部署が連携して取り組む事業に位置づけしており、多くの参加団体、多くの来場者が来場した。このイベント開催に向けて実行委員は自主的に6回にもわたる会議を重ねた。

ふれあい生涯学習フェア

平成 30 年 10 月 6 日（土）～8 日（月）

内容 ステージ発表、作品展示、体験教室、模擬店など

実行委員 32 人、ボランティア 2 人

参加団体数 142 団体 来場者数 4,700 人

・霞ヶ浦中・千代田中・下稲吉中地区公民館講座事業

平成 28 年度からは、中学校区ごとに地区公民館組織を置き、三つの地区公民館単位で講座を開講している。ただし、市民の方であれば、どの地区の講座でも受講できる。

霞ヶ浦中地区公民館講座 16 講座 80 回 延べ参加人数 673 人

霞ヶ浦中地区公民館視聴覚講座（土曜名画座【毎月】&ふれあい生涯学習フェア・クリスマス映画会）

14 作品 延べ参加者 294 人

千代田中地区公民館講座 12 講座 52 回 延べ参加者 475 人

下稲吉中地区公民館講座 11 講座 57 回 延べ参加者 442 人

・文化芸術振興事業

文化協会及び協会加盟団体の各種活動の支援を行った。

・歴史博物館管理運営事業

ふるさとに誇りと愛情を持ってもらえるよう、ふるさと教育を推進するため、市民学芸員の協力を得て、歴史や文化に関する展示会や各種講座、関係書籍の発行などを行った。

**【課題・今後の対応】**

・生涯学習推進事業

平成 27 年度からの新規事業は概ね好評ではあるが、大人大学の参加者が少ないため、対象者が重複する大人クラブに主体的な企画・運営を行ってもらい、大学の参加者と大人クラブの会員数の双方の増加が図れるよう調整するなど、今後は、これらの事業の完成度を高めていきたい。

・霞ヶ浦中・千代田中・下稻吉中地区公民館講座事業、文化芸術振興事業

文化団体数及び会員数が減少していることもあり、その対策として、平成 28 年度からは各地区公民館では当初からサークル化を念頭に置いた講座を中心に開講し、また、文化団体自主講座の支援などにも取り組んでおり、平成 29 年度は会員数を 58 人増加させることが出来たので、今後もこれらの事業を継続していく。

**【実施事業の内部評価】**

- A．大いに達成できた
- B．達成できた
- C．だいたい達成できた
- D．あまり達成できなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

子ども大学や大人大学、高齢者大学等各種事業のグレードアップと定着に取り組み、市民のために良質な学びの機会と場を提供することができたが、更なる会員数の増加を期待する。

「ふれあい生涯学習フェア」は年々盛大になっており、参加団体や来場者が増加していることは評価できる。

コミュニティ推進委員が中心となって公民館コミュニティ事業を展開できたことは評価できる。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 1 7	施策の方向	生涯学習施設の整備充実	担当課・担当	
			生涯学習課 ・霞ヶ浦中地区公民館 ・千代田中地区公民館 ・下稲吉中地区公民館 ・図書館	
施策の内容	<p>公民館の適切な維持管理に努め、その適正配置について検討を進めるとともに、必要に応じ施設、設備の整備に努めます。また、暫定利用する旧地区公民館についても適切な維持管理に努めます。</p> <p>図書館は、市民ニーズに応じた図書資料の充実と施設の利便性向上に努めます。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・旧地区公民館管理事業	2,674 千円	3,223 千円	
	・千代田公民館管理事業	16,209 千円	15,296 千円	
	・図書館運営事業	5,415 千円	8,057 千円	
	・図書館運営事業	6,064 千円	12,317 千円	
	・蔵書整備事業	1,518 千円	1,628 千円	
	・蔵書整備事業	5,719 千円	6,230 千円	
	・ブックスタート事業	370 千円	374 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <p>・旧地区公民館管理事業</p> <p>霞ヶ浦地区の小学校ごとに設置していた従来の地区公民館施設については、市の方針で、平成 27 年度末で廃止となったが、地区住民の強い希望もあり、行財政改革・公共施設等マネジメント推進室が進める「公共施設の適正配置」による恒久的な取扱いが決定するまでの間は、暫定的に地域住民の協力をいただきながら、市民協働の関係で管理運営している。</p> <p>また、志士庫地区においては、旧宍倉小学校を転用し、コミュニティと公民館活動などの場を含め、保健・福祉施設の拠点として令和 2 年度のオープンを目指す『(仮称)ウエルネスプラザ』の事業推進に当たり、地元公民館役員と当該市担当部署との</p>				

意見調整等を行なった。

・千代田公民館管理事業

平成 29 年度当初より、社会教育施設であった千代田公民館講堂を市民会館的施設「千代田講堂」に条例改正したことにより、前年対比約 55%の利用者増となった。

・図書館運営事業

生涯学習の中核施設として、市民の方が心豊かな生活を送る一助として図書館を円滑に活用できるよう、日常の図書の貸し出し・整理や読み聞かせグループや読書会の活動支援など、図書館の適正な管理運営に努めた。

・蔵書整備事業

来館者との窓口での対話（図書館窓口業務）や、新聞・テレビ等メディアで取り上げられているなどを参考に購入図書の選定をしている。利用しやすい図書館を目指し、図書の購入に合わせ不用図書のリサイクルにも力を入れており、ふれあい生涯学習フェアの際などに希望者に配布するとともミニ文庫の増設にも取り組んだ。

不用図書のリサイクル冊数 H29：3,578 冊、H30：3,195 冊

ミニ文庫箇所数 H29：2 箇所、H30：5 箇所

・ブックスタート事業

保健センターとの連携、民生委員やボランティアの協力により 4 ヶ月児検診の際に絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布を行った。

【課題・今後の対応】

・旧地区公民館管理事業

暫定利用後も、施設の老朽化等に起因し、更に利用者数が減少する傾向にあり、暫定でない施設の方向性を早く決定するため、公共施設の適正配置に取り組む行財政改革・公共施設等マネジメント推進室と地域住民の意見のつなぎ役としての役割を積極的に担う必要がある。

・千代田公民館管理事業

千代田公民館については、市内全域の公共施設の更新、適正配置が未確定との理由から、今まで各種修繕が保留されていた経緯があるが、老朽化が激しく、損傷箇所が多々あることから、安全性の確保が難しくなり、住民サービスの低下を招きかねないため、千代田公民館の今後の方向を早急に決定する必要がある。

また、平成 30 年 4 月より「下稲吉中地区公民館」をわかぐり運動公園体育館内に暫定設置をしていることから、正式な施設の設置に向けて、公共施設の適正配置を、行財政改革・公共施設マネジメント推進室と地域住民の意見のつなぎ役としての役割を積極的に

に行っていく必要がある。

・図書館運営事業

特設コーナー設置や、水・金時間延長など市内全域からの利用者増を目指す。

**【実施事業の内部評価】**

- A．大いに達成できた
- B．達成できた
- C．だいたい達成できた
- D．あまり達成できなかった

**【その他】**

図書館本館は、あじさい館内に開館して20年を経過し、備品等の傷みが目立つ。読書机に境がなく、ついたて等の設置要望や照明を明るくしてほしいなどの要望が多い。

**【点検・評価委員の意見】**

社会教育施設であった千代田公民館講堂を市民会館的施設「千代田講堂」に条例改正したことで利用者が急増（前年度比約55%）したことは、今後のあるべき方向性を示していると推察されるので、利用促進について広く積極的に取り組むことを期待する。

図書館の利用者目線を大事にしながら市民のニーズに対応し、購入図書を選定や利用時間の延長、静かなBGMを流すなど、利用しやすい図書館を目指した取り組みは評価できる。今後も企画を工夫するなどして、気軽に来館できるフレッシュな図書館づくりを期待する。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 1 8	施策の方向	生涯学習情報の提供	担当課・担当													
			生涯学習課 ・社会教育担当													
施策の内容	<p>マナビィガイドや生涯学習WEBを拡充し、事業の紹介など情報を提供し、新しい生涯学習ファンの開拓に努めます。また、生涯学習施設を拠点とした「機会提供型の生涯学習」に加え、「自ら学ぶ生涯学習」を推進できるよう生涯学習人材バンクの拡充に努めます。</p>															
事業名 及び事業費	事業名	30年度決算額	令和元年度予算額													
	・生涯学習情報提供事業	383千円	514千円													
<p><b>【平成 30 年度取組内容】</b></p> <p>・生涯学習情報提供事業</p> <p>平成 27 年度からの新規事業で、内容としては年 2 回、講座の情報等を提供していた生涯学習情報誌「マナビィガイド」を事業の様子を紹介など、広報的な意味合いを持った 2 回を加えて年 4 回に増刊し、市民の方から高い評価をいただいている。課のHPについては、従来は館、係ごとに時間が空いている職員が片手間で対応していたが、27 年度からは生涯学習課全体で 1 名正式な担当を決め、館、係を跨いだ形で対応することとし、名刺や封筒、チラシ、通知文などにHPのQRコードをつけるなど周知に努め、大きな成果を上げている。</p> <p>HP実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>更新回数(目標 200 回)</th> <th>閲覧回数 ( 目標 10,000 回 )</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 28 年度</td> <td>182</td> <td>9,547</td> </tr> <tr> <td>平成 29 年度</td> <td>226</td> <td>19,543</td> </tr> <tr> <td>平成 30 年度</td> <td>135</td> <td>25,074</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、生涯学習推進人材バンクについては、市子ども会育成連合会総会時での説明や、登録者名簿を市内小中学校へ配布して、人材バンクの周知に努めた。</p>					年度	更新回数(目標 200 回)	閲覧回数 ( 目標 10,000 回 )	平成 28 年度	182	9,547	平成 29 年度	226	19,543	平成 30 年度	135	25,074
年度	更新回数(目標 200 回)	閲覧回数 ( 目標 10,000 回 )														
平成 28 年度	182	9,547														
平成 29 年度	226	19,543														
平成 30 年度	135	25,074														
<p><b>【課題・今後の対応】</b></p> <p>・生涯学習情報提供事業</p> <p>マナビィガイドやHPは更なる拡充を目指し、HP更新回数及び閲覧回数の目標の達成を目指し、課内で連携して事業の情報提供に努めた結果、閲覧回数は目標を大きく上回ることが出来た。また、SNSを活用した情報提供も始め、迅速に情報を提供することが出来た。さらに、生涯学習推進人材バンクについては、自己申請だけでなく、有望な人をスカウトし、売り込むなど、利用件数の向上を目指した仕掛けをしていく必要がある。</p>																

**【実施事業の内部評価】**

- A．大いに達成できた
- B．達成できた
- C．だいたい達成できた
- D．あまり達成できなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

マナビィガイドやホームページの拡充を目指し、課内で連携して事業の情報提供に努めた結果、ホームページの閲覧回数が急増していることは評価できる。  
人材バンクの運用について、効果的に活用できるよう施策を検討する必要がある。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 1 9	施策の方向	スポーツ・レクリエーション 活動の推進		担当課・担当
				スポーツ振興課 ・スポーツ振興担当
施策の内容	<p>健康寿命の延伸、青少年の健全育成、地域コミュニティの活性化など現状や目的に対応した「スポーツのある生活」が実現できる体制づくり、システムづくりを推進します。また、スポーツイベントやスポーツ教室の開催や総合型地域スポーツクラブなどとの連携により、誰もが気軽にスポーツに親しめる機会を提供します。</p> <p>さらには、指導者の育成を図りながらスポーツ団体の育成強化に努め、各種事業や団体活動との連携強化を図ります。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・かすみがうらマラソン大会開催事業	3,000 千円	3,000 千円	
	・市民ふれあいスポーツ推進事業	3,642 千円	11,039 円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <p>・かすみがうらマラソン大会開催事業 土浦市との共催事業である、第 28 回かすみがうらマラソン兼国際盲人マラン大会を実施した。第 28 回大会につきましては、前日から強い雨風が吹き付け、一時大会開催も危ぶまれましたが、フルマラソンのスタート直前には雨もあがり、レースには快適なコンディションの中開催することができました。 エントリーは 24,051 人で、かすみがうら市からは 378 人の市民が参加しております。</p> <p>・市民ふれあいスポーツ推進事業 市民ふれあいスポーツフェアの開催 市と市体育協会が共催し、かすみがうら市総合型地域スポーツクラブ「なかよしスポーツクラブ」と「エンジョイスportsクラブ」が後援となり、フェアを開催した。内容は大きく分けて、ふれあい体験コーナー、演武発表コーナー、スポーツ少年団等の競技大会であり、あじさい館コミュニティ広場をメイン会場とし、市内全運動施設で開催し、市民にスポーツに関心を持つきっかけとなる機会を提供することができた。</p> <p>市民マラソン大会の開催 市と市体育協会が共催し、第 14 回市民マラソン大会を開催した。ベストタイムを狙って力走するランナーや仮装で会場を盛り上げながら楽しく走る参加者等で、大会を盛り上げていただきました。</p> <p>ふれあいサイクリングの開催</p>				

恋瀬川サイクリングコースを利用し、歴史博物館の協力を得て、文化財を融合させた、恋瀬川歴史スポットサイクリング大会を実施した。

#### カヌー体験教室の開催

B & G 海洋クラブに委託し、霞ヶ浦湖畔及び海洋センタープールでカヌー体験教室を実施した。

#### 水泳教室の開催

B & G 海洋センタープールにて 10m以上泳げない小学生を対象にジュニアスイミング教室を開催した。平成 27 年度から夕方 6 時 30 分から 8 時 30 分の夜間開催としたため、毎年 50 名の定員に達している。

#### スポーツ・レクリエーション祭の開催

K S C なかよしスポーツクラブとエンジョイスーツクラブに事業委託し、2017 スポーツ・レクリエーション祭を開催した。子供からお年寄りまでたくさんの参加者がさまざまなスポーツを体験することができた。

#### かすみがうら市で開催される茨城国体デモンストレーションスポーツの種目

ペタンクとグラウンドゴルフの普及活動として、ペタンク、グラウンドゴルフそれぞれ市内全小学校を回り体験会を実施した。

#### 【課題・今後の対応】

##### ・かすみがうらマラソン大会開催事業

全国のランニング人口の推移によると、2012 年の 1,009 万人をピークに 2016 年には 893 万人に減少。2018 年には 700 万人までなるとされている、かすみがうらマラソンのエントリーについても減少することが予測されている。対策として毎年 7,000 人参加している茨城県在住ランナーへの特典を付与した「茨城県民粋エントリー」を設置した。

##### ・市民ふれあいスポーツ推進事業

体育協会、総合型スポーツクラブ、スポーツ推進委員と連携・協力体制を深め、市民の健康づくり、体力づくりを推進する。また令和元年に開催される「いきいき茨城ゆめ国体」本市開催デモンストレーション種目のグラウンドゴルフ、ペタンクの普及啓発に努める。

#### 【目標達成状況の内部評価】

- A . 大いに達成できた
- B . 達成できた
- C . だいたい達成できた
- D . あまり達成できなかった

#### 【その他】

**【点検・評価委員の意見】**

いきいき茨城ゆめ国体の本市開催デモンストレーション種目のグラウンドゴルフとペタンクについては、多くの方に楽しんでもらえるよう普及啓発に努め、市民のレクリエーションスポーツとして根付くような事業の展開を期待する。

健康寿命の延伸、青少年の健全育成、地域コミュニティの活性化等に対応した「スポーツのある生活」の実現が待たれているため、市民を巻き込み各年齢層に応じた多様な取り組みを期待する。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 2 0	施策の方向	スポーツ・レクリエーション 施設の利用促進		担当課・担当
				スポーツ振興課 ・スポーツ振興担当 ・施設維持管理担当
施策の内容	<p>スポーツ施設の効果的かつ効率的な活用を促進し、様々なスポーツの需要に対応します。また、オンライン予約システムの更なる徹底と適正な維持管理による施設環境の質的向上に努め、施設利用を促進します。また、地域に根差したスポーツ団体にスポーツ施設を提供するため、学校などの体育施設の利用を推進します。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・市民ふれあいスポーツ推進事業	5,572 千円	6,571 千円	
	・体育センター管理運営事業	2,661 千円	2,590 千円	
	・わかぐり運動公園管理運営事業	18,509 千円	19,660 千円	
	・多目的運動広場管理運営事業	22,451 千円	25,165 千円	
	・戸沢公園運動広場管理運営事業	6,325 千円	8,874 千円	
	・第 1 常陸野公園管理運営事業	29,985 千円	30,485 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各体育施設管理運営事業 <p>平成 30 年度、市内各体育施設の緑地管理業務につきましては、芝刈り、草刈、除草剤、殺虫剤、樹木剪定等の業務をすべて専門業者に委託し、職員自ら作業をすることがなくなり、適切な緑地管理が行われ、市民からの苦情もなく、安心、安全にスポーツが楽しめる環境づくりをすることができた。</p> <p>また、県内統一オンラインシステム「茨城公共施設予約システム」の予約受付が定着してきている。</p> </li> <li>市民ふれあいスポーツ推進事業 <p>地域の方に身近なスポーツ施設を提供することを目的に学校体育館開放事業に取り組んできたが、霞ヶ浦地区の小学校の統合に伴い廃校となる小学校体育施設について関係部署と協議検討した結果、旧小学校体育施設として位置づけ、暫定利用をしている。</p> </li> </ul>				

**【課題・今後の対応】**

・各体育施設管理運営事業

どの施設も老朽化が進んでおり、修繕箇所が多く見受けられることから、各施設の要修繕箇所を把握し、年次的、計画的に修繕を進めていく必要がある。

また、土地借上料についても、公共施設の借地解消に向け、財産調整担当と協議しながら、借地については買取も含め、地権者と協議を進めていく。

・市民ふれあいスポーツ推進事業

霞ヶ浦地区の学校統合により廃校となった旧小学校体育施設の夜間開放の取扱いについて、利用者の声を聴きながら、実態を見極め、スポーツ振興担当として関係部署と協議を進めていく。特に現在利用者がいない体育館については、早急な対応が必要。

**【目標達成状況の内部評価】**

A．大いに達成できた

B．達成できた

C．だいたい達成できた

D．あまり達成できなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

市内各体育施設の緑地管理業務について、専門業者の委託により適切な緑地管理が行われ、安全・安心な利用に資することができたことは評価できる。

老朽化が進んだ体育施設は、適正な維持管理による施設環境の質的向上に努め、施設利用の促進を図るための具体的な方策を早急に検討する必要がある。

小中学校の体育館の夜間開放について、受益者負担について検討する必要がある。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No. 2 1	施策の方向	スポーツ・レクリエーション 団体の育成		担当課・担当
				スポーツ振興課 ・スポーツ振興担当
施策の内容	<p>スポーツ推進員と連携して、指導の強化や組織の育成を図ります。 さらには、スポーツを通して青少年の健全育成を図るスポーツ少年団の活動を支援するとともに、体育協会やその加盟団体などの自主的な活動を支援します。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・スポーツ団体育成事業	955 千円	2,953 千円	
	・スポーツ団体育成事業	4,110 千円	4,500 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <p>・スポーツ団体育成事業</p> <p>体育協会各部主催大会の開催支援</p> <p>体育協会加盟団体及びスポーツ少年団各部に対して、各種イベントの共催、補助金の交付等により市長杯大会等の委託を行った。</p> <p>スポーツ推進委員の育成と連携</p> <p>スポーツ推進委員と連携協力をし、スポーツ推進のため各種事業を実施するとともに住民に対するスポーツの実技指導及び助言を行った。</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>・スポーツ団体育成事業</p> <p>霞ヶ浦地区学校統廃合後のスポーツ少年団活動の場が確保できるよう支援していく。</p> <p>体育協会補助金等について、各団体の運営状況の把握に努め、補助金の配分方法の再検討が必要。</p>				
<p>【目標達成状況の内部評価】</p> <p>A . 大いに達成できた</p> <p>B . 達成できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C . だいたい達成できた</p> <p>D . あまり達成できなかった</p>				
<p>【その他】</p>				

**【点検・評価委員の意見】**

体育協会や加盟団体の自主的な活動を支援する施策を通して、スポーツ・レクリエーション団体の育成を図る必要がある。

体育協会補助金等については、各団体の運営状況により適正な配分方法をとる必要がある。

スポーツ少年団が減少傾向にあるので、中学校の運動部活動と連携するなどした取り組みを期待する。

## 4 地域文化の継承と創造

様式 1 (自己点検評価書類)

No. 22	施策の方向	文化財などの伝承と保護・活用	担当課・担当	
			生涯学習課 ・文化振興担当 ・歴史博物館	
施策の内容	市の歴史、文化に関する資料、事象などの収集、整理、保存、調査研究及び活用や指定文化財、埋蔵文化財については、常に現状を掌握し、適正な保護、管理、公開に努めます。			
事業名 及び事業費	事業名	30年度決算額	令和元年度予算額	
	・富士見塚古墳公園管理運営事業	5,354千円	5,639千円	
	・文化財保護事業	449千円	760千円	
	・文化財保護事業	1,887千円	2,467千円	
	・埋蔵文化財事業	4,884千円	25,540千円	
	・帆引き船保存活用対策事業	1,632千円	1,613千円	
	・歴史博物館管理運営事業	6,692千円	10,814千円	
	・歴史博物館管理運営事業	4,380千円	12,688千円	
・ジオパーク推進事業	1,119千円	1,270千円		
<p>【平成30年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士見塚古墳公園管理運営事業 富士見塚古墳公園及び展示館はシルバーに受付、清掃、庭園管理を委託。</li> <li>・文化財保護事業 国指定文化財椎名家住宅各種補助事業、出島のシイ延命対策事業、成井ばやし保存会等民俗芸能伝承事業、指定文化財等公開管理事業、文化財説明板修繕・新規製作事業、文化財保護審議会事業等を行った。 また、清掃及び活用事業の実施を条件に市民学芸員の会に委託している椎名家住宅管理事業については年12回の清掃と年3回の活用事業（お茶会、昔遊び、和の祭典「お琴と日本舞踊の発表会」）に取り組むことができた。 市民の文化財への関心を高めるため、「指定文化財一斉公開」については、市民学</li> </ul>				

芸員だけでなく、高校生会、地元大学生、文化協会団体などの協力や、2本の文化財巡りバスツアーを実施した。

平成27年度 493人 平成28年度 2,070人 平成29年度 1,723人 平成30年度 3,314人

・埋蔵文化財事業

埋蔵文化財照会申請に伴い現地調査、試掘調査、回答書の作成をし、年間の埋蔵文化財事業を調査報告書としてまとめた。

・帆引き船保存活用対策事業

平成27年度に設立された「霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会」と市民協働の関係で、帆引き船操業者の後継者育成 県指定、国指定無形民俗文化財へ向けた調査・研究 各種普及活動の支援に取り組んだ。

・歴史博物館管理運営事業

特別展 1回

『日本の漁業史の中の帆引き船』

企画展 2回

明治維新150年記念『大日本と近世・近代教育』

『筑波山地域ジオパークの自然災害』

特別展・企画展に合わせた講演会などの催しの開催や図書（マンガ、解説書）の制作・発行、ふるさと教育に係る各種講座の開講（13講座 46回 参加延人数 836人）

市民学芸員の養成及び支援、私たちの郷土（小中学生の歴史研究）の発行

出前博物館（市内外 15回）歴史資料の収集、保存、整理

歴史博物館運営協議会・民俗資料調査員会議の開催

・ジオパーク推進事業

第5回 JGN 関東大会を筑波山地域ジオパークにて開催し、伊豆大島、下仁田、浅間山北麓、秩父、箱根、銚子、などから約200人が参加した。

また、ジオに関する講座を7講座実施（参加延べ人数 201人）した。

【課題・今後の対応】

・富士見塚古墳公園管理運営事業

富士見塚古墳展示館の来館者を増やすため29年度から（一部）展示の入れ替えを行い、企画展を実施した。年に一度の企画展を実施していく。

・埋蔵文化財事業

埋蔵文化財の出土品の保管場所が不足していることから、旧安飾小学校を収蔵庫として活用していく。

・帆引き船保存活用対策事業

霞ヶ浦帆引き船操船技術及び帆引き網漁法が国の文化財に選択されたが、今後も県指定無形民俗文化財の指定に向けて、民俗資料の調査研究を行うとともに、県や関係市との協議調整を進める必要がある。

・歴史博物館管理運営事業

多様化する市民ニーズに応えるため情報を収集し、市民学芸員の会と協力する体制を維持、拡充することで、歴史博物館の機能を高めていく。

現在、観光ガイド的役割も担う市民学芸員の需要に市民学芸員の養成が間に合っていない現状がある。

・ジオパーク推進事業

ジオパークをかすみがうら市の目玉事業として地域活性化を図っていくために、数多く普及機会を設けると共に、積極的に観光や地方創生事業と連携し、魅力的な事業を展開していく必要がある。

【実施事業の内部評価】

- A．大いに達成できた  
B．達成できた  
C．だいたい達成できた  
D．あまり達成できなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

指定文化財一斉公開については、市民学芸員をはじめ高校生会や地元大学生、文化協会団体等、各種の生涯学習育成団体と連携しながら参加者を増加させているのは、大いに評価できる。

地域文化の伝承と保護・活用を図るためには、市民学芸員の養成を計画的・継続的に進めていく必要がある。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 2 3	施策の方向	ふるさと教育の推進	担当課・担当	
			生涯学習課 ・ 歴史博物館	
施策の内容	市民学芸員など市民の協力の下、展示会、講座、体験教室、歴史書物、の刊行など、様々なふるさと教育を推進していきます。			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・ 歴史博物館管理運営事業	6,692 千円	10,814 千円	
	・ 歴史博物館管理運営事業	4,380 千円	12,688 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史博物館管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>特別展 1 回 <ul style="list-style-type: none"> <li>『日本の漁業史の中の帆引き船』</li> </ul> </li> <li>企画展 2 回 <ul style="list-style-type: none"> <li>明治維新 150 年記念『大日本と近世・近代教育』</li> <li>『筑波山地域ジオパークの自然災害』</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>特別展・企画展に合わせた講演会などの催しの開催や図書（マンガ、解説書）の制作・発行、ふるさと教育に係る各種講座の開講（13 講座 46 回 参加延人数 836 人）</li> <li>市民学芸員の養成及び支援、私たちの郷土（小中学生の歴史研究）の発行</li> <li>出前博物館（市内外 15 回）、歴史資料の収集、保存、整理</li> <li>歴史博物館運営協議会、民俗資料調査員会議の開催</li> </ul>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史博物館管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財、民俗資料や廃校小学校の資料の収蔵庫と合わせる形で旧安飾小学校を収蔵庫として活用していく。</li> </ul> </li> </ul>				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> A . 大いに達成できた</li> <li>B . 達成できた</li> <li>C . だいたい達成できた</li> <li>D . あまり達成できなかった</li> </ul>				
<p>【その他】</p>				

**【点検・評価委員の意見】**

展示会、講座、体験教室及び歴史書物の刊行など、様々なふるさと教育を推進していくには市民学芸員の協力が欠かせない現状から、市民学芸員の日頃の活躍の様子を広く発信し、市民の理解を深めていく必要がある。

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 2 4	施策の方向	芸術・文化活動の推進		担当課・担当
				生涯学習課 ・社会教育担当
施策の内容	文化協会及び加盟団体を支援し、市民の芸術文化活動を推進させ、文化活動やサークル活動の活性化を図ります。			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・文化芸術振興事業	1,000 千円	1,005 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <p>・文化芸術振興事業</p> <p>文化協会の各種事業の支援及び補助金の交付を行った。また、イベントや月例展示会など、活動の発表や作品の展示の場を設けた。また、寺子屋運武館の夏休み絵画教室の講師として「彩友会」へ、切り絵同好会にはふれあい生涯学習フェア時などに、あじさい館ホール窓に切り絵展示を依頼するなど文化団体に活躍の場を提供した。</p> <p>文化団体数や会員数の減少が傾向にあるため、その対策として平成 27 年度から文化協会の担当部署を社会教育担当に変更した。</p> <p>各文化団体の会員数、団体数が減少しているため、文化団体自主講座の開講などして、一時増加したが、令和元年度は会員数が 20 人減少した。今後も、公民館ではサークル化を念頭に置いた講座を開講し、文化団体数の増加に努める。</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>・文化団体の推進に寄与するため、課内で連携するとともに、また、文化団体の作品等の発表・展示場所をさらに設けるなど、活躍の場を提供できるよう工夫する。</p>				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <p>A . 大いに達成できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B . 達成できた</p> <p>C . だいたい達成できた</p> <p>D . あまり達成できなかった</p>				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>市民が求める潤いのある心豊かな生活を送るためには、芸術文化活動を推進していくための中長期的な視点で施策を十分に検討する必要がある。</p> <p>文化団体に活躍の場を提供していることは、文化団体の活性化に必要であるため、今後も継続を期待する。</p>				

様式 1 ( 自己点検評価書類 )

No . 2 5	施策の方向	観光との連携	担当課・担当	
			生涯学習課 ・文化振興担当 ・歴史博物館	
施策の内容	文化財や文化的景観を観光資源として有効活用にするとともに、観光客に対応できる文化財体験プログラムの整備と市民学芸員や観光ボランティアなどの人材育成に取り組みます。			
事業名 及び事業費	事業名	30 年度決算額	令和元年度予算額	
	・ 富士見塚古墳公園管理運営事業	5,354 千円	5,639 千円	
	・ 歴史博物館管理運営事業	6,692 千円	10,814 千円	
	・ 歴史博物館管理運営事業	4,380 千円	12,688 千円	
	・ ジオパーク推進事業	1,119 千円	1,270 千円	
【平成 30 年度取組内容】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士見塚古墳公園管理運営事業 富士見塚古墳の魅力を P R できるような古墳の学習や古墳からの景観をテーマにした講座等を実施できなかったが、今後は、例年通り実施する。</li> <li>・ 歴史博物館管理運営事業 市民学芸員養成講座やジオサイトの学習会などにより、市民学芸員のレベルアップと増加に取り組んだ。</li> <li>・ 帆引き船保存活用対策事業 平成 27 年度に設立された「帆引き船・帆引き網漁法保存会」と市民協働の関係で、帆引き船操業者の後継者育成 県指定、国指定無形民俗文化財へ向けた調査・研究 各種普及活動の支援に取り組んだ。</li> <li>・ ジオパーク推進事業 第 5 回 JGN 関東大会を筑波山地域ジオパークにて開催し、伊豆大島、下仁田、浅間山北麓、秩父、箱根、銚子、などから約 200 人が参加した。また、ジオに関する講座を 7 講座実施 ( 参加延べ人数 201 人 ) した。</li> </ul>				
【課題・今後の対応】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士見塚古墳公園管理運営事業 観光との連携を密にし、桜や景観など、観光客のニーズに対応した事業展開を目指す。</li> <li>・ 歴史博物館管理運営事業</li> </ul>				

ジオパークの認定により、市民学芸員の活動の幅が広がり、更なる需要が増えることが予想されることから、市民学芸員の増加、レベルアップを目指す必要がある。

・帆引き船保存活用対策事業

霞ヶ浦帆引き船操船技術及び帆引き網漁法が国の文化財に選択されたが、今後も県指定無形民俗文化財の指定に向けて、民俗資料の調査研究を行うとともに、県や関係市との協議調整を進める必要がある。

・ジオパーク推進事業

ジオパークをかすみがうら市の目玉事業として地域活性化を図っていくために、数多く普及機会を設けると共に、積極的に観光や地方創生事業と連携し、魅力的な事業を展開していく必要がある。

【実施事業の内部評価】

- A．大いに達成できた
- B．達成できた
- C．だいたい達成できた
- D．あまり達成できなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

ジオパーク認定により市民学芸員の活躍の場が広がり、需要が増えたことは評価できるが、多くの市民にとってはまだまだ馴染みが薄く距離感を感じているので、観光や地方創生事業との連携を図るとともに、市民や関心を持つ方々が魅力を感じることができるような事業の企画を進めることを期待する。

魅力あるまちづくりを推進していくうえで観光は重要な資源であるため、広報の充実を図るとともに、市民学芸員の資質の向上を図る施策を講じたことは評価できる。

## 5 市民活動の支援

### 様式 1 (自己点検評価書類)

No. 26	施策の方向	コミュニティ活動の推進	担当課・担当	
			生涯学習課 ・霞ヶ浦中地区公民館 ・千代田中地区公民館 ・下稲吉中地区公民館	
施策の内容	地域の財産や課題をキーワードに、地区公民館を主体とした市民協働型のコミュニティ活動を通して、魅力ある地域づくりを推進するとともに、地域の担い手の発掘、育成に努めます。			
事業名 及び事業費	事業名	30年度決算額	令和元年度予算額	
	・公民館活動推進事業 ・公民館コミュニティ活動事業	3,824 千円 5,797 千円	- 霞 6,634 千円 千 1,893 千円 下 2,622 千円	
<p>【平成 30 年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館活動推進事業 平成 28 年度から新たに始まった中学校区の三つの地区公民館のコミュニティ活動を推進する地域のリーダーとしてのコミュニティ推進委員と霞ヶ浦中地区の分館長など、公民館役員の報酬の支払い。令和元年度から、各中地区公民館コミュニティ活動事業へ再編。</li> <li>・公民館コミュニティ活動事業 平成 28 年度からの新規事業。中学校区ごとに新たに設置された三つの地区公民館【組織】において、従来の行政が準備したものに市民が参加するという従来の形ではなく、地区の財産や課題をテーマに、地域のリーダーであるコミュニティ推進委員が中心となって、地区住民自らが企画運営する地区独自の特色ある公民館コミュニティ事業を市民協働の関係で事業展開することが出来た。令和元年度からは、各中地区公民館コミュニティ活動事業へ再編。</li> </ul> <p>霞ヶ浦中地区公民館 参加延べ人数 2,787 人 球技大会、歩く会、移動講座、ハイキング、下大津桜まつり、牛渡まつり、防災講座、クリスマスイベント、いってみっかサロンなど</p> <p>千代田中地区公民館 参加延人数 1,310 人 交流サロン「ちよだ広場(週 2 回)」、地域コミュニティづくり研究座談会(3 回、視察研修含む)、移動サロン(ミニハイキング)、移動学習会、ちよだ落語会、公民館勉強会(千代田中、下稲吉中地区共催)</p> <p>下稲吉中地区公民館 参加延人数 4,309 人</p>				

交流サロン「おしゃべりカフェふれあい(月4回)」、いなよし学習広場(週1回)、みんなの夏まつり、移動サロン、視察研修、体験型文化祭、公民館勉強会(千代田中、下稲吉中地区共催)

**【課題・今後の対応】**

・公民館コミュニティ活動事業

千代田中地区、下稲吉中地区においては、3年目を迎え、コミュニティ推進委員自身が何を、どう働きかけていくかを具現化しつつあり、千代田中地区の地域コミュニティづくり研究座談会や、下稲吉中地区のみんなの夏まつり、体験型文化祭等、結果として成功を収めることができた。今後は引き続き、行政と市民の役割分担を明確にしつつ、更なる事業の拡充に努めていく。

霞ヶ浦中地区においては、ライフスタイルや地域コミュニティに対する考え方の多様化に加え、コミュニティの場の拠点となっていた小学校の統廃合により、体育祭や球技大会など、従来の事業の進め方では困難なものが出てきている。一方、下大津桜まつり、牛渡まつり、防災講座、クリスマスイベント、いってみっかサロンなど、支館(地区)オリジナルの新しい企画がコミュニティ推進委員主導で立ち上がってきており、それらの新しい動きを大切にしていきたい。

**【実施事業の内部評価】**

- A. 大いに達成できた  
B. 達成できた  
C. だいたい達成できた  
D. あまり達成できなかった

**【その他】**

**【点検・評価委員の意見】**

地域のリーダーであるコミュニティ推進委員を核として、地域住民自らが企画・運営する市民協働型の特色あるコミュニティ活動を数多く展開し、参加者が増加したことは大いに評価できる。

公民館事業については、既存の事業の見直しを積極的に行い、マンネリ化を防ぎ、地域住民が真に求める事業を企画・運営することを期待する。

## 第4章 学識経験者の意見

### 1. 学校教育課に対する意見

学校における働き方改革の議論が進められている今日、「教師のこれまでの働き方を見直し、教師が学校教育の蓄積と向かい合って自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになる。」という改革の目的を教育委員会と学校で共有し、働き方改革に取り組むことを期待する。

千代田中学校区統合小学校整備事業については、令和4年度の開校に向けて、児童生徒が安全で快適な学校生活を送ることができる施設となるようにするとともに、将来の児童生徒数の減少に対応するための特色ある学校づくりに向けた基本構想を検討する必要がある。また、これに伴い廃校となる小学校の利活用について、早急な検討が必要である。

### 2. 生涯学習課に対する意見

市民が期待する事業の展開が求められている今日、市民の学習ニーズを的確に把握し、そのニーズに応える学習機会を提供するとともに、加えて様々な手立てを講じることにより、広く学習情報を提供することを期待する。また、図書館については、利用者が気軽に来館できる雰囲気づくりをするなど、フレッシュな企画・運営を期待する。

市民にとって魅力ある多様な市民協働型のコミュニティ活動が展開されている。その核となる担い手であるコミュニティ推進委員の意欲や熱意を大切に、今後とも市民協働型のあるべき事業が展開されることを期待する。

地域文化の伝承と保護・活用を図るためには、市民学芸員の養成を計画的・継続的に進めていく必要がある。

### 3. スポーツ振興課に対する意見

健康寿命の延伸、青少年の健全育成及び地域コミュニティの活性化等に対応した「スポーツのある生活」の実現が待たれている。そのためには市民を巻き込み、年齢層に応じた多様な取り組みを実施し、早期の実現を期待する。いきいき茨城ゆめ国体の本市開催のデモンストレーション種目であるグラウンドゴルフとペタンクについては、市民のレクリエーションスポーツとして根付くよう継続した取り組みを期待する。

### 4. 点検結果

教育に関する事務の管理及び執行状況の自己点検評価をもとに点検・評価を実施した結果、昨年度の指摘事項を施策に反映し、市民が期待する事業を展開していることは大いに評価できる。

市民の負託に応える教育行政の遂行のために、これまでの慣行にとらわれることなく、大胆な発想に基づく市民本位の事業に取り組むことを期待する。